ASAHIKAWA CITY

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00561285 2025年11月5日

	発信課 消防本部総務課
	担当者 梅田 啓祐
	電 話 直通74-3149/内線87-811-225
	連絡先 FAX 33-1191
	E-mail k_umeda@city.asahikawa.hokkaido.jp
分 類	イベント·行事 [O] 募集 [] 契約·入札 [] 会議·説明会 [] その他 []
日 程	令和7年11月10日 11時00分 ~ 令和7年11月10日 12時00分
発表項目	表彰状の贈呈について
(行事名)	3(年)がの周主で フザ C
概 要 田・ 本語 で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	趣 旨:表彰状の贈呈 日 時:令和7年11月10日(月) 11時00分 (旭川市東光27条8丁目) 内 容:旭川市内で発生した救急事案に際し、迅速な119番通報 及び救命措置を行い、人命を救助した功績を称える表彰 出席者:被表彰者1人、関係者(救助された者)1人、消防長 ほか5人
添付資料	有 無
報道(取材)に当 たってのお願い	
備 考	

功績の概要

1 日時

令和6年9月28日(土) 消防覚知時間 12時33分

2 発生場所

旭川市神楽6条12丁目

3 事故概要

被表彰者宅を訪れていた傷病者が意識消失及び心肺停止状態となったもの。

4 被表彰者名及び年齢

新山 青里(にいやま あおり)様 53歳

5 行動概要

職場の同僚である傷病者が被表彰者宅に滞在中、意識を消失し心肺停止に至っている状況を発見し、迅速に119番通報を実施するとともに胸骨圧迫を実施し、到着した救急隊に引き継ぎ、救命の連鎖に貢献したもの。

このことにより、傷病者は翌日に意識が回復し、現在は後遺症がなく年内に社会復帰が見込まれるまでに回復している。

6 褒章に値する理由

本事案は、被表彰者による早期発見、通報及び胸骨圧迫がなされ、救命の連鎖が確実に行われたことにより、傷病者が後遺症なく社会復帰に至ることができたと言え、その勇気ある行動は賞賛に値するものである。